

6月
議会
報告

ひえじま市議が反対討論

日本共産党のひえじま俊和市議は、6月議会で反対討論に立ちました（6月22日、右の写真）。



ひえじま 俊和 議員
日本共産党福岡市議団

要支援者 介護サービスを 低下させるな

専門職をはずす改悪

ひえじま市議は、安倍政権の介護保険改悪にもなう、要支援者のサービスを低下させる新たな事業を高島市長が始めようとしている問題などをとりあげました。訪問ではヘルパーの資格なしの人が身体介護と切り離して掃除・洗濯・調理などを行う「生活支援」を新たに設けます。ひえじま市議はこれらのサービスは介護の質を低下させるものだと指摘し、反対しました。



人工島への税金投入ストップを

進出企業に13億円のバラマキ

市は人工島のみならず、くりエリアで港湾関連用地2・1鈔が「売れた」と自慢しています。ひえじま市議は、討論の中で実際には13億2000万円もの立地交付金をつけてようやく売れたにすぎないと実態を暴露。これらを含めると実際の売値は設定単価の7割にもならないことが明らかになりました。

福岡市 防災計画の見直しを

日本共産党は6月議会で熊本地震の教訓を踏まえ、想定避難者数、福祉作業所、必要物資など福岡市の地震防災計画の見直しを提起し、市側は見直しに向けた検討を約束しました。

また、熊本現地の被災者支援として被災者生活再建支援金の支給額を最大500万円へ引き上げるよう国に要求することを提案しました。

熊本の被災者支援の強化を求める意見書案も提案しましたが、自民党、公明党、みらい福岡、維新の会などの反対で否決されてしまいました。



熊本地震の被災者
支援に全力!

博多駅前
被災者募金を超党派で
訴えました（5月19日）



ひえじま俊和 市議会報告

ひえじま市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をおよせください。（日本共産党東・博多地区委員会 ☎631-0037）
博多区民報 2016年7月・8月号外
発行：日本共産党福岡市議団 電話 711-4734 FAX741-4627

日本共産党

定例生活相談会

毎月第2・4水曜 / 18～20時 / 共産党地区事務所 / ☎631-0037 (千代4-19-18)

がんばっています！ ひえじま俊和

再生可能エネルギーの調査を進めています

ひえじま市議は、原発ゼロをめざし「福岡市の再生可能エネルギー普及率の抜本的向上を」と議会でも提案してきました。

福岡市で活用がほとんど進んでいない風力の可能性を調査・研究するため、北九州市を視察・調査しました。

また、自治体が設立した地域エネルギー会社（みやまスマートエネルギー）も現地を訪れ、聞き取りを行いました。



みやま市

みやま市から地域エネルギー会社について現地ヒアリング（5月26日）



北九州市

北九州市の風力発電施設を視察（5月24日）



ひえじま市議のコメント

風力については陸上だけでなく、海上での開発にまだまだ研究の余地が感じました。地域エネルギー会社については、地域内でお金が循環し、エネルギーも自給できる可能性を見出しました。引き続き調査を行い、福岡市の施策に役立てていきます。

ウォーターフロント
(WF) 再整備

天神ビッグバン

市政ウォッチングをおこないました

市民とともに

高島市政が新たな巨大開発としてねらっているのがウォーターフロントや天神の再開発。地元への経済効果も不明なのに、数千億円をつぎ込み、「巨大なムダづかい」と批判されています。

日本共産党市議団は、5月23日、市民のみなさんとともに開発予定地や関連施設を視察しました。

博多ポートタワー上からWF開発の全体像を調査



新設された中央ふ頭のクルーズセンターを視察。市担当者の説明を受ける

老朽防犯灯の建替えを



千代の2町内会が、老朽防犯灯の建て替えを陳情。ひえじま市議もさっそく市当局に要請しました。